

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

骨性マレットに対し術中に double extension block pin を使用した screw 内固定術の治療成績

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学江東豊洲病院で 2021 年 10 月から 2024 年 7 月までに
骨性マレットに対し double extension block pin 使用による screw 内固定術の加療歴のある患者さん

2. 研究目的・方法

骨性マレットに対しての手術加療は鋼線刺入法、plate 使用、screw での内固定法などが挙げられます。各々の治療法に関して鋼線刺入法は感染や矯正損失、plate での内固定法は爪変形などの合併症が挙げられます。また screw 刺入に関して 1 本の鋼線を術中に使用した方法では術中整復位獲得不足及び術中に骨片が粉碎するリスクがあります。本法では術中の仮固定及び骨片整復時に鋼線を 2 本使用することにより術中の安定した整復位保持が可能です。また 2 本の block pin 刺入箇所を術中透視で確認することにより骨片の中心への screw 刺入が容易となり、有用な方法であると考えます。骨性マレットに対し本法を用いて内固定術を施行した症例を対象に臨床像、手術成績、合併症などを診療録、レントゲン画像、手術記録を用いて後ろ向きに調査します

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 12 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録(年齢、性別、病歴、使用した内固定材、術後関節可動域、合併症の記載の有無)、
手指レントゲン検査、手指 CT 検査、手術記録

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学 医学部 整形外科学講座 東山 祐介(昭和大学江東豊洲病院)

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 氏名：東山 祐介

住所：〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 昭和大学江東豊洲病院

電話番号：03-6204-6436

研究責任者：東山 祐介